

「P2P配信技術の現状と希望をニコニコ
語ろう」
場外戦でのメモ

JANOG21プログラム委員 浜田 泰幸

White Boardのメモから (1/2)

- ▶ P2P peerの最適化のためにはISPのトポロジー情報をさらさないため。
 - 誰がupdateするか →どこまで情報を出すか？
 - リンクのコストやメトリックまで出すのか？
 - 結局それをやるとお金の話になる
- ▶ peer selection

peer selection →IP
→AS number
→hop数
↓
今は「運」



White Boardのメモから (2/2)

- ▶ グローバルアドレスで見える(NAT)
- ▶ peer selection検出は30秒～1分毎。
- ▶ 早いリンクが選ばれるのでなんとなくFTTHに集まる
- ▶ 品質チェックしているので クライアントがpeerをupdateする(NAT)
- ▶ トポロジーの情報の管理のしかた
 - 1.トポロジーを把握する
 - 2.トポロジーを把握していない。



White Board以外でのコメント

- ▶ IPアドレスの距離を測るのが難しい
- ▶ ホップ数では図れない(LAN内でも1hop、東阪線でも1hop)
- ▶ どうやってクライアントにトポロジを教えるか？
→まさかBGPフルルートをくべるわけにも行かないし、それでもわからない
- ▶ そのほかの端末は出てくるのか？たとえばDSとか、携帯電話とか。
→まだわからないが、携帯電話はありえない。あれは必ず基地局と繋がらないといけないから。なのであまりP2Pにはならない。

